

報道関係各位

TOYOROBO 株式会社

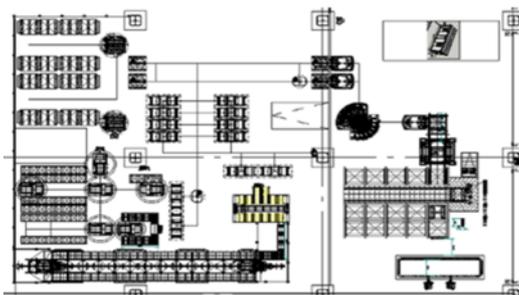
TOYOROBO 株式会社が
野村不動産の物流に係わる企業間共創プログラム
「Techrum (テクラム)」に参画

～「習志野 Techrum Hub」に「Fusion Stride Space」を構築～

TOYOROBO 株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：新井 守、以下「当社」）は、野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区）が主導する、物流分野の企業間共創プログラム「Techrum (テクラム)」に参画いたします。同プログラムの効果検証拠点である「習志野 Techrum Hub (テクラム ハブ)」において、パレットおよびケースの入出庫ソリューションを検証できる環境「Fusion Stride Space (フュージョン ストライド スペース)」を構築します。

導入開始は2025年3月中旬、完成は2025年4月30日を予定しています。

『当社は「Fusion Stride Space」を通じて、物流現場の課題を解決する最先端技術の開発・導入を加速し、業界全体の効率化を推進してまいります。また、「Techrum」に参画する他の企業とも連携し、持続可能な物流ソリューションの創出に貢献していきます』(代表取締役社長 新井 守のコメント)



■ Techrum (テクラム) について

「Techrum」は、物流における自動化・省人化を推進し、さまざまな課題解決を目指す企業間共創プログラムです。野村不動産の物流施設「Landport」シリーズを活用し、物流業務の効率化や新技術の導入に向けた実証実験を行うためのプラットフォームを提供しています。

習志野 Techrum Hub (テクラム ハブ)

所在地：千葉県習志野市茜浜 3-7-2 (Landport 習志野 1階)

公式 HP：<https://www.nomura-landport.com/techrum/>

特定の業種・品物における入出荷の実作業を想定した検証が可能となるソリューションの展示を開始し、リニューアルを進行している。30社70種類以上の機器で検証することができるようになり、荷主・物流企業の課題の早期解決・人材不足解消を目指しています。

野村不動産ホールディングス株式会社の関連リリース：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000681.000025694.html>

■ Fusion Stride Space（フュージョン ストライド スペース）の概要

当社が構築する「Fusion Stride Space」は、物流倉庫内におけるパレットおよびケースの入出庫作業の自動化・効率化を検証するための環境です。これにより、物流現場の省人化・省力化を実現し、今後のスマート物流の発展に寄与していきます。

本環境では、以下の product を導入します。

AMR (autonomous mobile robot)

ACR (autonomous case handling robot)

APR (autonomous pallet handling robot)

4Way pallet shuttle

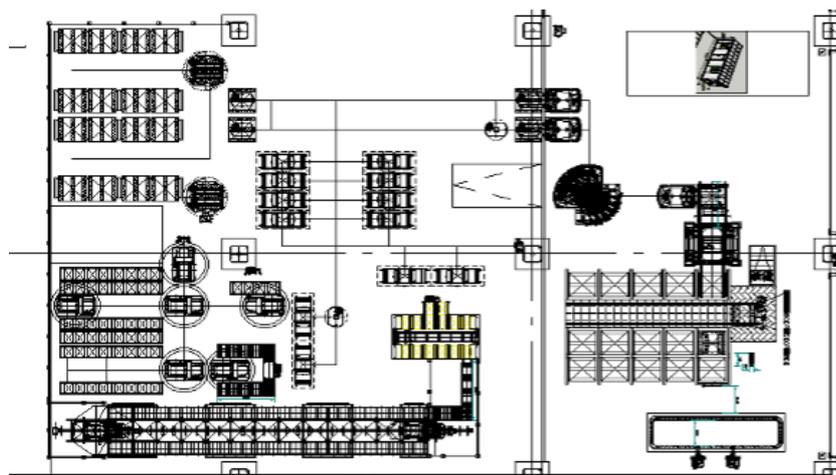
CHS (case handling stocker)

ibox (intelligent box)

AGF (Automated Guided Forklift)

Robo Sweep (Clean robot)

Linear conveyer



Fusion Stride Space のレイアウト・イメージ

■ 事業内容

1. ロボット技術の導入支援および統合コンサルティング
2. 物流プロセスの標準化、自動化、効率化の推進
3. 高付加価値ソリューションの提供

当社は、物流オペレーション全体の最適化を図ることで、顧客の課題を解決し、顧客の競争力向上に貢献します。

■ 経営理念

- スローガン：

A Future Connected by Technology, A World Set in Motion. -技術でつながる未来、動き出す世界-

- モットー：

垂直立ち上げ・安定稼働

【会社概要】

会社名： TOYOROBO 株式会社

所在地： 〒110-0016 東京都台東区台東二丁目 12 番 2 号

代表取締役社長：新井 守

事業内容： ロボット技術の導入支援および統合コンサルティング
物流プロセスの標準化、自動化、効率化の推進
高付加価値ソリューションの提供

設立： 2024 年 10 月

資本金： 1000 万円

URL： <https://toyoroboinc.co.jp/>